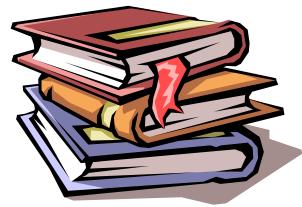


NEWS LETTER



NO.6 2001.3.20

にほんごひろば岡本

発行：にほんごひろば岡本（甲山国際文科学館内）
〒658-0003 神戸市東灘区本山北町 3-2-10
TEL : 078-453-5941

春

の息吹が私たちを元気づけてくれるのでしょうか。何か新しいことにチャレンジしてみたい気分になる季節です。「にほんごひろば岡本」の仲間も、いろいろな場で自分磨きに励んでいます。自信を持って学習支援ができるようにと日本語教育研修会に参加する人あり、一念発起して英会話に再挑戦する人あり、IT時代に取り残されないようにとパソコン相手に悪戦苦闘する人ありと、ひろばは「やる気充分」の頼もしい仲間で賑わっています。

無我夢中で走りつづけた1年半を振り返り、問題点を整理し、より意義のある支援活動へと脱皮する時期が来ています。皆さんの遠慮のないご意見をお聞かせください。

気負わず、気長に、楽しく！を合い言葉に「にほんごひろば岡本」の特色を生かした活動を探り続けていきたいと思います。

◆ CONTENTS ◆

【特別企画】

さよならの季節

ひろばで出逢って、そして旅立った人たち.....2

【トピック】

外国人日本語スピーチ大会に出場

応援団を従えて、イゴリさん大健闘.....7

【フォトレポート】

2000.12.23 ミレニアムクリスマスパーティーの報告

ハルモシカの演奏、壮絶な椅子取りゲームなど.....8

連 載

学習者の紹介.....3

支援者の紹介.....4

学習者のひろば.....6



【特別企画】

さよならの季節

春の訪れと共に、新しい生活への出発（たびだち）をする「にほんごひろば岡本」の仲間たちにエールを送ります。



山本晃子さん 黄桂宏さん、王禹さんなど最も多くの

学習者を担当。周到な準備と熱意、その迫力に感動！ヴァイオリンの腕も相当なもの。北京外国语大学で1年間日本語を教え、ひとまわり大きくなって帰国されることでしょう。

福原香織さん アルゼンチンのオラシオさん担当。時間に余裕のない彼の為に、延長学習もしばしば。大阪外大日本語専攻3年次に編入学、日本語教師への道をまっしぐら。ニュースレターを飾る素敵なイラストは継続してくださるそうです。

児玉久実さん ブラジルのジルベルトさん、バングラディシュのパブルさん担当。銀行勤めをしながら養成講座420時間終了したがんばり屋さん。海外青年協力隊日本語教師としてミクロネシア連邦へ。ミクロネシア便りが楽しみです。

勝島千晶さん、高見友理子さん、小野寺友紀さん、信治沙知さん 黄奕尔さんの教科学習支援もしてくださいたった優しいお姉さん達です。

大石千華さん、大島美帆子さん 新妻ロサリタさんの心強い味方でした。

緋田康代さん グレッグさんの日本語能力試験2級合格に大きく貢献されました。

梶原久美子さん 卒業論文「東灘区の日系ブラジル人コミュニティ」が高い評価を受けました。

デリー・マクトナールさん 一見もの静かで学究肌。趣味は旅行、スキーバダイビングとなかなか行動的。最近は剣道に熱中、1級合格の腕前。日本食が大好きで自分で作ることも。竹中さん、松見さんとの会話をエンジョイ。夢の実現（外交官志望）めざし、東京での生活をスタートされました。

黄奕尔さん にこやかな笑顔の奥に一本芯の通った奕尔さんは中学2年生。神戸松蔭のお姉さん達と週2回学習し、今や完全なバイリンガル。将来の夢（お医者さん）に向かって着実に努力する彼女を温かく見守りたいと思います。

ミカ・ロースさん 英語学校の仕事を終え帰国。各地を旅行したり、書道を習ったりと思い出は沢山。日本語で書かれたカードと、日本語の勉強を続けるとの言葉に、支援者の佐古田さんは大感激!!

モネ・カスタネ一口さん お祭り男のモネさん、交流会で大活躍。感謝の言葉を書いたカードとチョコレートを市川さん、福原さんに手渡すという心配りも。カードは日本語で書いて欲しかったなあ・・・

胡淑玲さん USAへ留学のご主人に同行。早朝アルバイトを終えて、学習に駆けつけるバイタリティに橋本さん、松見さんも驚嘆しきり。チャーミングな容姿と愛すべき人柄は、新天地でも多くの人を魅了することでしょう。

董陰峰さん 奥様（北京外国语大学の先生）とともに帰国。独習とは思えないほど完璧な文法の知識に、大石さんや市川さんもビックリ。社交的な紳士ぶりはクリスマスパーティーで証明済みです。

田中アルベルトさん、西田カルメンさん 残念ながら仕事の都合でひろばを去った2人からは日系南米人の現状と心意気を教わりました。

パブル・アクターさん、ニマル・ヘッティアラッチさん 日本での研究を終え帰国。それぞれの笑顔が目に浮かびます。

学習者紹介

●林 翠津さん（女性） 台湾出身

夢に向かって

丁度一年前の今ごろ、初めて林さんに会いました。ふと立ち寄った GAP というお店で、林さんは生き生きした表情でテキパキと働いていました。日本語のうまさに感心して、いろいろ話すうちに、「ひろば」に興味をもたれ、気が付いてみると勉強を始めました。その当時、ほかのボランティアの仲間からは、「佐古田さん、ボランティアの営業をしたんですか」などと言われてからかわれました。

林さんとの勉強は、彼女の希望でカタカナの言葉（外来語）が入った文章の書き取りと上級者用のテキスト『テーマ別、上級で学ぶ日本語』



を使った
読解学習
を中心
に行っています。

林さんは8年前
に台湾か
ら日本に
来て、神

戸の大学に入り、そこでマーケティングや流通を勉強したそうです。現在のお店では小売業のマネージャーの仕事をしています。彼女の夢はもっと今の仕事のキャリアを積み、英語も勉強して、広い世界に出て仕事をする事だそうです。

日本語を聞いたり、話したりすることには殆ど問題のない彼女ですが、やはり日本の社会で働くには、よりきれいな日本語を使って欲しいと思い、それを心掛けています。

外国の社会で、習慣の違いや人間関係に巻き込まれ、悩みながら、それでもなんとか自分の夢に向かって一所懸命頑張っている一人の女性にエールを送りたいと思います。

「ガンバレ、ガンバレ、林さん！」

（佐古田幹子）

●アレクサンデル・トクマコフさん（男性）

ロシア出身

芸達者な科学者

アレクサンデルさんは、神戸大学大学院バイオシングナル研究室で教えていらっしゃる科学者です。非常に緻密な頭脳の持ち主で、予習はきっちりと十二分にしてこられます。疑問があれば、納得するまで繰り返し質問し、ご自分の考え方を述べられます。物静かで穏やかな反面、まじめな



顔で冗談を言われるので、一瞬とまどってから爆笑・・・「これはネ、駄洒落です」とちょっとはにかんで言われます。7年余りの滞在なので日本語はかなり達者、意外なフレーズが飛び出すので感心することが多いです。昨年のクリスマスパーティーでは、ロシアの民族楽器ハルモシカを演奏して、私たちを楽しませてくださいました。

しかし、残念なことに、5月からしばらくの間ロシアに帰って、昨秋急逝されたお父様の後のことを片付けて、秋からは、横浜にある研究所に移られる予定です。日本語→英語→ロシア語と続く留守番電話が聞かれなくなるのはちょっと淋しいなア。

（古家峰子）

●マリカルメン・ガルニカ・サリナス（女性）

メキシコ出身

スペイン語もメッチャ関西弁？

マリカルメンさんは交換留学生で現在神戸高校の一年生です。

彼女の出身地メキシコのイメージの如く、とても陽気で明るい人柄です。本当に元気いっぱいのいまどきの高校生です。

メキシコの学校で日本語を学んだのは6ヶ月、

それから去年8月に日本に来て今ではごく普通に日常会話ができます。高校でたくさんの友だちに囲まれていることもあるせいか上達がとても早いです。本人は「私の日本語きたない。すごく関西弁」と言いますが、クリスマスパーテ



ィーで同じ学習者のグレッグさんにも驚かれたほどの才能の持ち主です。漢字もいっぱい勉強して日記の宿題も漢字を使って書いてくるほどのがんばり屋さんです。

最近、日本語とスペイン語と英語がごちゃごちゃになるらしく、久しぶりに電話で話したお母さんから「あなたのスペイン語、へん。外国人の喋るスペイン語みたい」と言われたそうで、相当ショックを受けていました。

夏にはメキシコに帰る彼女ですが、「帰りたくない。日本が大好き。ずっといたい」と言っています。それまでいつも質問をぶつけてくる彼女と共にがんばっていこうと思います。

(中禮かおり)

●テレーザ・岡崎さん(女性) ブラジル出身 ファミリーで学習中

ブラジル出身の岡崎テレーザ(静江)さんは昨年の7月から読書を通して漢字を学習しています。今思えば、私自身が楽しんで学習していたのがよかったです。テレーザさんは次から次から職場のお友だちや息子さんを「にほんごひろば」に紹介してくれました。今では、テレーザさんは漢字の勉強をしていますが、息子さんの幸一さん、お嫁さんの真由美さん、娘さんの由美さんと彼氏のセルジオさんの4人で日本語の基礎から楽しく学習しています。4人一度は大変ではありました(今は時間をずらして学習中)、年末にチームに分かれてカルタをした時は大盛り上がりでした。

特に、幸一さんの学習意欲には降参です。細かい助詞や語尾変化など、私にはうまく説明できないものにも食い下がって質問や用例を訊ねてくるので、ド素人の私はいつもたじたじです。しかし、学習



を始めた頃は「ことば」という日本語さえ知らず、まったく会話が成立しなかった幸一さんが今や、つたないながらも、職場で日本人社員とブラジル人の間の通訳をするくらいになりました。会話が長く幅広になっていく目覚しい成長が私にも毎週実感できとても嬉しく思います。今後も、その好奇心と積極性で、ますます日本語を操ることができるように頑張って欲しいです。

(梶原久美子)

支援者紹介

★古家峰子さん

ストレス解消はバッハ

昨秋、武庫高校で養成講座を受けた時、「にほんごひろば岡本へどうぞ!」とお誘いに来られた西村さんに、なぜかぐいと引き寄せられたのがこの始まり・・・気がついた時には、アレクサンデルさんとのお見合いも無事に済んで、佐古田さんを頼りに、レッスンが始まっていました。日本語をお教えするのが、こんなに難しいとは知りませんでしたが、20年前にふと抱いた夢が、今叶えられたので一所懸命に勉強して、満足して頂ける授業にしたいと願っています。



本職は英語、小さな教室を開いています。3人の息子たちが親離れしたので、したい事はい

いっぱいあるのですが、体はひとつ、時間は1日24時間、あきらめる事の方が多くて残念です。家にいる時は、起きてから寝るまで、車の中でもバックハの音楽を聴いています。これが私の元気のもとです。

★吉田加代子さん

23年ぶりの関西暮らしです

去年12月31日に東京の小金井市から岡本に越してまいりました。

日本語教育のボランティアを始めたいと思ったきっかけは、息子がオーストラリアへ留学に行きホームステイ先の人たちや色々な方々に親切にして頂き、お礼の意味で日本に滞在されている外国の人たちのお役に立ちたいと思ったからです。3年前、小金井市で生活日本語教室を発足する事となり、スタッフの一期生としてボランティア活動をしてきました。その間、たくさんの人たちと出会い、また教える事によって私自身日本語や日本文化、生活を知るよい機会になったと思います。

岡本に来て日が浅く何も分かりませんが、ご指導をよろしくお願ひ致します。

★梶原久美子さん

日本語指導にハマっています

関西学院大学社会学部4年の梶原です。7月からブラジル出身の岡崎テレーザ（静江）さん（写真右）と読書を通して漢字を学習しています。



「にほんごひろば」との出会いというのではなく、自分の卒業論文のテーマに東灘区の在日ブラジル人の方々を取り上げたいと思ったからです。最初西村さんにお電話し、岡崎さんなら会話に不自由しないのでインタビューできるだろうというこ

とで紹介していただきました。その頃はまさか支援者になるつもりはなかったのですが、「ひろば」の遊びとした温かい雰囲気に惹かれ、またもともと人に何かを教えることが好きな性格と、自分が英語を学び話そうとすればするほど、日本語の表現の多彩さ・奥深さを覚えた頃だったので、自分でも驚くほどあつという間に日本語指導に「ハマッて」しました。

★白神知佳さん

音楽と言葉はすごいパワーの持ち主

ニューズレター愛読者の皆様こんにちは！！春がすぐそこまで近づいてきました。穏やかな雰囲気の「にほんごひろば岡本」にピッタリの季節ですね。

私は「ひろば」で毎週月曜日にアメリカ人学習者のグレッグさんを担当させて頂いている白神です。グレッグさんは日本で英語を教えてい



るので“教える”ということに関してはプロであり、テープレコーダーのスマートな扱い方を指導してもらうなど、私も毎回の授業で勉強になることがたくさんあります。英文専攻の私は日本語を教えることは「にほんごひろば」が初めてでした。聽講させて頂いている日本語教育コースの概論や教授法を実践にもっていくことは難しくて大変でしたが、わきあいあいとした「にほんごひろば」で授業しているうちに少しずつ慣れてきて、今では楽しく授業ができるようになりました。

さて、自己紹介はこれくらいにして、この場を借りて音楽について少し書きたいと思います。皆さん日頃どのくらい音楽を聴いていますか？私はバンド（パートはドラム）活動をしているので音楽は生活に欠かせない存在になっています。音楽はすばらしいパワーの持ち主です。美しいメロディーは言葉と同じくらい人の心を動かす力を持っています。軽快なリズムはなんだ

か踊りだしたくなってしまう気分に。そして言葉以上にそれぞれの国の特色や流行、時代背景を表していると思います。仕事で疲れたとき、落ち込んだとき、騒ぎたいとき、日本語の勉強の合い間など、ぜひ音楽を聴いてみてください。もちろん自分の好きなジャンルで。驚くほど、気分が楽になりますよ♪♪

こんな音楽好きの私ですが、日本語を教えることも大好きです！！

これからもどうぞよろしくお願いします。

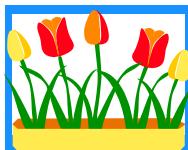
★西村穂香さん

お気に入りが増えました

まだ何となく肌寒さを感じる近頃ですが、春には神戸松蔭の3回生になる西村穂香です。穂香という字で「ほのか」と読みます。あまり聞かない名前ですが、私自信お気に入りの名前です。ついこの間も、品物が春めいてきた雑貨屋の店先でかわいらしい桜色の「はなほのか」という食器を見つけ、思わず買ってしました。それも私のお気に入りです。

お気に入りと言えば最近では日本語教育に対する興味というか好奇心が増えてきました。

私がにほんごひろばに行くようになったのは本当に最近で、初めは何をどうしたらよいのかもわからない状態だったのですが、今では「ひろば」に行くのが楽しみであります。本屋に行って参考書を見るのも楽しいし、嫌だった英語の勉強もするようになりました。自分の好きな本の原本を訳すことから始めているのですが、会話の勉強もしたいと思っています。ひろばに行くようになってお気に入りが増えて嬉しい限りです。



学習者のひろば

今回はグレッグさんとマリカルメンさんに登場していただきました。グレッグさんは昨年の

4月から「ひろば」で週1回、緋田さんと学習しています。マリカルメンさんは今号の学習者紹介にも登場されています(3頁)。今回の作文は2月頃に書かれたものです。

「2級物語」

グレッグ・勉尊(ベンソン)



去年の夏に「日本語能力試験・2級」を受けることを決めました。その時、日本に住んで1年半くらいでした。

試験を受けるなら、もっと勉強のやる気が出ると思いました。そしてたくさん試験の本を買って、毎日漢字やじゅく語や文法など勉強していました。2級の練習の試験もしましたが、やはりすごくむずかしかった。だんだん合格の希望がなくなっていました。ぜったいだめと思いました。

ついに試験の日が来ました。JR六甲道駅の前は外国人だけでした。神戸大学行きのバスを待っているうちに、心配がなくなりました。ぜったい不合格と思ったから試験を楽しんで受けようと思いました。

試験場につきました。私のまわりにいっぱいかしこくみえる外国人がすわっていました。みんなは熱心によく書いてぼろぼろになった本を読んでいました。

試験が始まった。さいしょの部分は語い。あまりむずかしくなかった。つぎのちょう解も同じでした。希望がちょっとふえてきました。でも、さいごの読解はさいあくでした。わからなくて、ほとんどすいそくをしました。いつしうけんめいちょう能力を使ってみました。それで、まわりの人がカンニングをしても気にならなくなりました。「どうぞ、えんりょしないで見てください」と思いました。

帰る時、来年の2級試験の勉強しようと思いました。受けたばかりの試験はもうわざれました。

今年の2月に仕事場に試験の結果が来ました。ぜんぜんきょうみがなかったので、ふうとうを開けないでおきました。昼食の時、ふうとうをせいきゅう書を開けるように開けました。ぜんぜん、どきどきしませんでした。大きい紙を出して見て、「なぜ、不合格のじょうめい書をもらったか」と思いました。2,3回読んで、じつはそれが合格じょうめい書だとわかりました。すごくビックリしてうれしかった。どうりょうのみんなにみせました。でもそれから日本人のじょうしの話し方が速くなりました。

私は「え？ もう一回言って下さい」って言ったら、じょうしは「なんで？ おまえ2級受かったのに」って言いかえされました。

これから来年の1級「ちょう能力」試験の勉強がんばります。

2級に合格してみんな先生たち、どうもありがとうございます。

毎日読んでいた「ドラえもん」のまんがもあります。

「私の日記」

マリカルメン・サリナス



○月△日（晴れ）

前の日曜日留学生の友達と三宮や元町やハーバーランドへ行きました（つかれました）。三人でとても楽しかった（男一人、女二人）。プリクラを撮りました。

この男友達はとてもおもしろい人です（いつも二人で笑い過ぎます）。その日宿題いっぱいありました。でもしたくない。大変サボリの一日でした。

月曜日から私毎日いっぱい英語を勉強します。本当に今英語何も分からぬ。もう忘れました。だからとても心配です（多分その試験ぜんぜん出来ない）。

今日の数学クラスはとても退屈でした。本当にねむたかった。昨日2時に寝ました（いっぱい勉強しました）。

明日は留学生友達の誕生日ですから、私はこの友達にメールを送ります(^_-)。

今度の日曜日、友達とカラオケで誕生日パーティーをします。楽しみです。

トピック

◆イゴリさん、
外国人日本語
スピーチ大会
に出場◆



2001年2月24日（土）、宝塚市国際交流協会の主催で行われた外国人日本語スピーチ大会に、「ひろば」で学習中のイゴリ・ブリヤコブさん（ロシア）が出場されました。

イゴリさんは大学院の試験で忙しいにもかかわらず、この日のために支援者の桂さんと準備をして臨まれました。当日は冷たい小雨模様でしたが、「ひろば」から5人の応援団も駆けつけました。

普段の「ひろば」でのイゴリさんからは想像もできないくらい緊張していましたが、なかなかユーモアのあるスピーチで聴衆からも笑い声が聞こえました。他の出場者や交流協会の人たちとのパーティなども挟んで、大会がお開きになったのは午後4時過ぎでした。またその後



で宝塚のケーブルテレビの取材なども受け、イゴリさんは大奮闘の一日でした。

本当にお疲れ様でした。

フォトレポート

2000年12月「にほんごひろば岡本」のクリスマス交流会

2000年12月23日、「ひろば」でクリスマス交流会を行いました。

今回はミレニアム・クリスマスにあやかって、ひろばのクリスマス会も大いに盛り上りました。食べ物、飲み物、そして出し物も盛りだくさんの賑やかなパーティーでした。

主な出し物はクリスマス・ソングを日本語、英語、中国語でそれぞれの国の学習者が歌ったことです。なかでも、北京の董さんと台湾の林さんがとても仲良く協力して歌われたことが印象に残ります（写真上）。この日北京の董さんは大活躍で、椅子取りゲームでもアメリカのモネさんと最後のイス1つをめぐってデッドヒートを繰り広げられました。結果は？？ 中国の董さんが見事チャンピオンに輝きました！（写真左）



また、もう一つの出し物はなんと言っても、ロシアのアレクサンデルさんによるハルモシカ（小型アコーディオンのようなロシアの民族楽器）の演奏でしょう（写真右）。演奏の合間にに入る語りもなかなかのもので、とても上手なパフォーマンスでした。



飲めや、歌えのパーティーもちょっと中休みに“お買い物タイム”も設けました。支援者の協力で集まった品物を超格安で皆が購入し

ました。ご協力ありがとうございました（写真左）。

いろいろな国の人、いろいろな年代の人、いろいろな仕事の人と同じ時間を共有することの素晴らしさ、楽しさを感じた一日でした。



【お知らせ】

NEWS LETTER も今回で6号を迎えました。新しい世紀を迎える新年度（平成13年度）

から紙面をリニューアルする予定（？）です。

より楽しく、より読みやすく、お役に立つものにしたいと思っています。ご意見・ご希望をお聞かせください。また、ホームページのリニューアルも考えているんです。

ちょっとだけ（だいぶかな？）、欲張っていますが、ちょっとだけ、期待していくください。

では、パソコンの本を買いに、本屋さんに行ってきます。（M・I）

追伸；今号のすてきなイラスト（1・4・6・7頁）は福原香織さんにお願いしました。

追追伸；春は確実にやって来ています。編集打ち合わせの時の西村さん、かなりファンシーでした。

